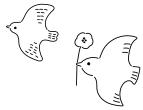


偶数月に1回、「抱樸館を支える会」会員の方にお届けしています

抱樸館を支える会

会報



2024. 4 月

vol.64

2024年4月1日発行:抱樸館を支える会

今なぜ「居場所」なのか

抱樸館を支える会の会費は、抱樸館の運営はもちろん、グリーンコープの「居場所づくり」にも役立てていることをご存知でしょうか。生活困窮者の問題を突き詰めると、誰にとっても他人事ではない、私たちの暮らしや生き方の問題に行きつきます。

そこで今号は、グリーンコープの生活再生事業や困窮者支援の道を切り開いてきた、社会福祉法人グリーンコープ顧問 行岡みち子さんから、「なぜ居場所をつくるのか」をお聞きし、各地域に根ざした多様な居場所をたずねました。



グリーンコープが居場所をつくるわけ～行岡みち子さんに聞く

時代を先取りしてきたグリーンコープ

グリーンコープは、世の中が経済的に豊かだった1980年代後半から、「ものを売る」だけでなく、みんなで助け合い、生活をよりよくするための様々な事業を実現してきました。例えば、高齢者福祉や子どもの福祉に取り組み始め、※1生活再生事業、ホームレス状態の人の支援、※2ファイバーリサイクル事業や女性が無理なく働ける「※3ワーカーズ」という働く場をつくってきました。

昨年からはカーボンニュートラルの取り組みとしてEV車の導入を始めました。EV車が街中を走り、たくさんの人の目に留まることで、深刻化していく環境問題や生活のあり方を社会に問うことにつながると思います。グリーンコープは、常に生き方・生活のあり方を世の中に問い合わせ続けてきました。

キーワードは孤立と孤独

居場所の必要性を感じたきっかけは、2006年から始めた生活再生事業でした。生活や様々なことで困って相談に来られる方は、孤立し独りで悩み



続け、ぎりぎりの状態になっているケースがほとんど。仕事があっても家族がいても、誰にも相談できず、ちょっとしたきっかけで行き詰ってしまうことがあります。そんな相談者に支援員が寄り添い、その困りごとを解決しますが、支援員との関係がなくなると、また孤立状態に戻り一人ぼっちです。結局、ふらっと行けて誰かと気軽に話したり、愚痴を言い合ったりする場所や、人とのつながりが少ないことが生活困窮の要因のひとつだと思いました。

子育て支援も同様です。つながりのない地域でのワンオペ育児や母子家庭など、ひとりで抱え込んでしまう孤独な育児、そのような背景から、子どもへの虐待につながることもあります。安心して子どもを預けられる場所があれば、気持ちに余裕ができ、ほんの少しは息抜きできるかもしれません。

(次頁につづく)

(前頁からのつづき)

子育てサポートワーカーズは、そんな母親たちが、ひと時でも肩の荷を下ろせるようにと、各地に誕生しました。グリーンコープの学習会や組合員活動も、託児があることで仲間と出会い、働く場を得ることにもつながりました。ワーカーズは孤独な育児をしている母親たちの心強い味方でした。しかし、その収入源は、集団託児や個人宅での託児など、様々な「場所に出向いて」託児業務を受けること。それで事業を成り立させていたので、コロナ禍で仕事(収入)が激減したとき、一部のワーカーズは集まる場所もなく、活動休止を余儀なくされました。

それを知った私は、「子育てサポートワーカーズにも拠点となる場所と事業が必要だ!」と強く思いました。「子どもの居場所」を担う主体としてワーカーズの拠点ができます。それが「子どもの居場所」が広がった理由のひとつでした。

*4多重不安の時代に必要とされているもの

子育て、高齢者の問題、生活困窮など、様々な問題が更に深刻になっています。コロナ禍は人間関係を、より希薄にさせました。特殊詐欺や若い世代の強盗事件など、凶悪事件が多発する背景には、「貧困」「差別」「教育不足」「人間関係の希薄」などがあります。犯罪に手を染めるような場面になっても、その行為に歯止めをかけるような人とのつながりがありません。

2022年の児童生徒の自殺者数は、512人と過去最多を更新しました。20代の自殺者も増加しています。気候変動・大規模災害などの社会不安に加え、ロシアとウクライナ、パレスチナでの戦争、食料需給のひっ迫、物価高…多重不安社会はさらに深刻さを増しています。

そのような社会状況の中で必要なのは、やはり人と人のつながりではないでしょうか。

グリーンコープが居場所をつくるのは必然

今、グリーンコープの「居場所」は子どもだけでなく「みんなの居場所」として広がり続けています。地域に開かれていること、子どもも大人も、高齢者も障がいのある方も、ひとりでもふらっと行けて、誰もがフラットに関わり合えるのが理想。最低限のルールは必要だけど、「こうあるべき」という概念がないのが「みんなの居場所」です。

支援が終結したあとも、そこに行けばホッとできる。知らない人とおしゃべりしたり、得意なことを教えあったり。グリーンコープOBやOGが集まつて、最近のグリーンコープの様子を話したりする場所があつてもいいですね。定年退職した65歳以上の方々は、もっと地域へ出たらいいのにと思います。居場所の中に小さな、ちょっととしたお手伝いをする職場があつてもいいですね。食べものの関係のワーカーズはビルから出て、組合員事務局はセンターを出て、高齢者向けの試食や共同購入のお助けボランティアなどの新しい拠点となる色んな居場所があるといい。居場所づくりは自分を活かしながら、誰もが何かの役割を引き受け、誰かの役に立つチャンスだと思います。

自由な発想で多様なつながりをつくる一居場所への道のりは一本ではありません。

「みんなの居場所」が校区にひとつ、あちこちにたくさん生まれることを願っています。

*1 グリーンコープの多様な「たすけあい」活動から生まれた支援事業。多重債務に陥らないための予防や、債務の解消と生活の再生を支援する相談と貸付を行っている

*2 衣類のリユース・リサイクルをとおして「国境を越えた子育て支援」「生活困窮者の就労支援」など、グリーンコープの運動を豊かに広げる取り組み。ファイバーリサイクルの収益は、パキスタンの子どもたちの教育に役立てている

*3 「雇う・雇われる」の関係ではない新しい働き方。メンバー全員が経営にも責任を持って働く、同じ思いを持った仲間との協同組合。グリーンコープのワーカーズ運動は「人間が人間らしく、自己実現や自己表現や自己決定しながら自分が持っている力を最大限に發揮できる職場を仲間と協同して作ること」を推進するために事業を行っている

*4 例えば「仕事がなくてお金がない」という不安の背景に、親の介護で仕事に復帰したくてもできない、自身の健康不安、離婚の危機、子どもの教育の問題、借金の返済期限が迫っているなど、幾重にも不安が重なっている状態

行岡 みち子さん

- ・生活再生事業推進室長
- ・社会福祉法人グリーンコープ 顧問
- ・グリーンコープ生活協同組合連合会 顧問
- ・一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク 事務局長

大好きな時間は寝ているとき（何時間でも眠れる）
趣味はベランダで花を育てる



一人の人を大切に、そのための居場所でありたい 水巻こどものおうち

水巻こどものおうちは、JR水巻駅より歩いて5分の一軒家。「子育てサポートセンターたんぽぽ」のワーカーズ20人で運営しています。日本財団からの助成を受け、2022年6月に開所しました。ハンデを持つ方や高齢の方、そして子どもたちにとって自由にくつろげる居場所であり、食事を一緒に楽しめる交流の場となっています。責任者の岩本さんにお話を聞きました。



責任者
岩本 智子さん

子どもたちの笑顔は私たちの原動力

いつでも誰が来ても大歓迎で、食事の準備をして待っています。お友だちと一緒に食事をすることで、食べられなかつたものが食べられるようになつたり、不登校だった高校生の子が、ボランティアスタッフとしてお料理作りを手伝ってくれるようになりました。子どもたちは「おいしい!」と言って、たくさん食べてくれます。それが私たちスタッフの一番の喜びであり、活力となっています。食を通じて子どもたちが豊かな経験をすることを願っています。



ボランティアスタッフとして高校生が手伝いに来てくれています



月・木・土開催。3人のスタッフが常駐。第一土曜はイベントの日。近くにグリーンコープみずまき店や*子ども支援オフィスがある。

*子育て世帯のさまざまな困りごとの相談窓口。福岡県が独自に行なう事業の一つ



みんなで遊んだり、宿題をしたりご飯を食べたり
思い思いに過ごします

小さな活動の先に見えるもの

大きい子が小さい子のお世話をしてくれる姿が自然とみられます。雰囲気は、ほんわかとしていて、別の学校に通う子もすぐに打ち解けて遊びます。輪の中に入れないと、他の子どもたちと関わることで様々な経験ができるようになります。

このような小さな活動を続けている中で、子どもたちに励まされながら学んでいます。

様々な人々と出会い、お互いを知り理解することで、共生社会をつくっていけたらと思っています。地域に壁がなく、誰でも行き来できる場所がたくさんあるといいですね。



2月のイベントは節分。
折り紙で作った鬼の工作
や手巻き寿しの準備をしました

笑い声が絶えない いろんな年代が集う 子どもの居場所ひだまり



ワーカーズコレクティブヒトハレが運営している、「子どもの居場所ひだまり」は、熊本県人吉市の「ヒトハレハウスいっとこ」内にあります。代表の松田亜希子さんにお話を聞きました。

ヒトハレハウスいとこ
Instagram



代表
松田 亜希子さん



毎週火・水・木・金(14時~18時)開催
水曜日・金曜日はひだまりごはんの日

寄り添う方法は「ごはん」だった

居場所に中学生の男の子が毎日4~5人来てくれています。始めの頃は挨拶をしないし、来てもしゃべりませんでした。中学生におやつをたくさん準備し、好き嫌いがある子には別メニューを用意するようになりました。特別なことは何もしてません。ただ寄り添う方法が「ごはん」でした。その中に不登校だった子がいます。学校には行けなくても、なんとか居場所には来て欲しいと働きかけました。今は色々話してくれるようになり、そのうちに学校に復学することができました。親に報告しない、口うるさく言わない、ここに来てご飯を食べて、回復していくのではないかと思います。学校で「何をしていましたか?」というアンケートに、ここ(居場所)でおやつ作りや手伝い(ボランティア)をしていたと書いたと聞いて、とてもうれしかったです。



ある日のひだまりごはんメニュー
・チキンカツ・千切りキャベツ・ニンジンラペ・みそ汁・地鶏の炭火焼きとごぼうのおにぎり・クレープ

誰でも集える公園のような居場所を目指して

キープ&ショップが併設されているので、小さな子どもを連れて来られた方におやつを渡したり、体調が悪そうな妊婦さんに、「少し休んでいかれませんか?」など声をかけたりしています。生活する上でちょっとした困りごとがあれば「ひだまり」に来て、気軽に相談して欲しいと思います。自分たちが直接支援できることは関係箇所などを紹介するようにしています。

また、子どもたちが体験できるイベントをたくさん企画しています。自分たちの居場所でもあるので、楽しみながらやっています。2月12日に「ヒトハレハウスいとこ1周年」の記念イベントを開催しました。子どもたちを中心に、誰でも集える公園のように開かれた居場所作りを目指しています。



スタッフは訪れた方に
「おかえり」と声をかけます。
スタッフと話をしながら、おやつやおにぎりを食べ、まるで
自宅にいるかのようにつる
いた様子で、思い思いに
過ごしています。

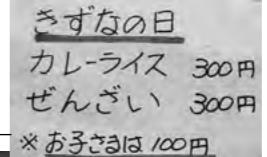
みんなの居場所がここに在る 居場所カフェ 在(aru)

箱崎宮近く(福岡市東区)、昔ながらの懐かしい雰囲気の商店街通りに「居場所カフェ 在(aru)」があります。

白い壁と高い天井、おしゃれな家具とグリーンがあしらわれ、とても居心地のいい空間です。この日は悪天候に関わらず、地域のお客さんで賑わっていました。

「在」を運営する※1「生活再生ワーカーズこころ」の清水さんにお話を伺いました。

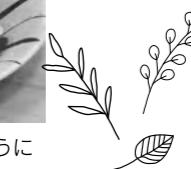
居場所カフェ在(aru)
Instagram



この日(2月21日)は「きずな
の日」。抱樸館の卒業生の方
が入れ替わり訪れていただけでなく、
一人で静かに過ごす女性や、地
域のご婦人と中国からの留学生
が相席で楽しげにお話をするな
ど、席ごとにゆったりと穏やか
な空気が流れていきました。



きずなのは誰でも食べられるよう
に人気のカレーを格安で



ここに「居場所」を作りたい

抱樸館福岡から出て社会復帰した後、結局孤立してしまう方が多いんです。その人たちが集まるそんな場所があったらいいよね、と考えたことが「在(aru)」を作ったきっかけです。

抱樸館福岡を退所された方が福岡市東区に450~460人くらい、「在」の半径2km圏内に140人くらい住んでいます。だから仕事帰りに寄るとか、出勤するときに窓越しに手をふったりとか、そんな交流ができるんじゃないかなと思ってね。地域の人たちともお互い知り合いになって、通りで挨拶かわすぐらいになつたらいいなと思いました。

その中から実現できることを見つけていきたいと思つ
ています。

今は抱樸館福岡の方だけじゃなく地域の方も来てく
ださる。みなさん、単なる喫茶店ではなく「居場所」と
いうことを認知してもらうことが大切かもしれません。
誰かとつながることも、一人で来て過ごすことも、なん
でも受け入れてもらえる安心感を提供したいと思つ
ています。

「在」では、※2はこまめ屋の豆を使ったこだわりの
ネルドリップコーヒーを味わえます

丁寧に淹れたコーヒー
は「在」の魅力のひとつ
です。
すっきりしていながら
コク深い味わい。



※1 一般社団法人 生活再生ワーカーズこころ とは
くらし・しごと・家計の相談を受け生活の改善をサポートしています

※2 焙煎工房 はこまめ屋 とは

2018年7月、社会福祉法人グリーンコープが「生きづら
さを抱える方たち」の就労訓練所としてオープンした、こ
だわりの自家焙煎珈琲販売店。「在」の近くにあります

焙煎工房 はこまめ屋
Instagram



抱樸館福岡の「卒業生退居時アンケート」より

抱樸館福岡では、退居時に“新しい生活を始めるみなさまへ”アンケートをお願いしています。この1年の間に退居した人のアンケートの一部を紹介します。

アンケート内容

- ①抱樸館福岡での生活はいかがでしたか？
- ②新しい生活に向けての抱負・抱樸館へのメッセージなど



抱樸館を卒業される方、職員や他の入居者と一緒に見送ります。

■ 70代の男性(2023年12月退居)

①抱樸館福岡の皆様には大変お世話になりました。2度目の入所でしたが快適な生活を過ごすことが出来ました。感謝しております。私自身病気がちで腰痛、白内障、糖尿病と治療に専念して参りましたが、おかげさまで随分と良くなりました。今後、日常生活において支障がないよう健康には気をつけたいです。

②住居についても満足のいく物件が見つかりました。駅にも近くコンビニ、スーパーもあり便利な所です。生活する上での支障はあまりないのですがこれから先、年を重ねて行くごとに精神面、健康な体づくり、病気の治療に留意したいです。抱樸館福岡様のイベント等にはできるだけ参加できるよう努力したいです。

■ 50代の男性(2023年3月退居)

①生活、食事から資格取得まで多方面に渡り大変良くして頂き、又仕事も見つかり大変お世話になり感謝致します。人間関係も上手くでき、快適な生活を送らせてもらいました。

②食事、健康管理に留意し元気に生活していきたいと思います。何かあつた時は頼らせてもらうかもしれないけど、どうかよろしくお願ひ致します。

■ 30代の男性(2023年5月退居)

①路上生活を1ヵ月味わった自分としてはここでの生活はとてもありがたい事でした。3食たべられて人間らしい生活が送れる事に感動したのを今でも覚えています。ここに来てから本を読む習慣が身につきました。100冊近く読みました。パソコンのタイピングは毎日練習しました。抱樸館のご飯おいしかったです。

②自分にとって路上生活は今までの人生を見つめ直すいい機会になりました。これからは、誰にも負けない様なスキルを身につけてパソコンを使った映像制作の道に行きたいなと思っています。支援していただきありがとうございました!!

抱樸館福岡スタッフより

いつも柔軟な笑顔のとても優しい方で担当相談員の私の健康面まで気遣って頂き、いつも温かい気持ちにさせて頂いておりました。これからもお元気でお過ごし頂きたいと思っています。

抱樸館福岡スタッフより

調理の仕事をしたことがあって、料理がとても得意です。抱樸館のすぐ近くに引っ越しをされました。ご自身で調理されたお弁当をよく差し入れしてくださいます。とてもおいしいです。

抱樸館福岡スタッフより

入居中に、精神科クリニックを受診し、発達障害があることが分かりました。就労継続支援B型に通所するようになり、アパートを借りて引っ越しをしました。事業所への通所をがんばって、元気に過ごしてほしいと思います。とてもまじめな方です。

卒業生からのメッセージ

今回、抱樸館福岡の卒業生からメッセージをいただきました。

Dさん(当時40才)は、抱樸館福岡を2023年に卒業され、現在は一人暮らしをしています。趣味はバイクツーリングとキャンプ。

子どものころから集団が苦手だった

小学校のときから、人間関係、集団生活は苦手でした。理由は自分では分からぬのですが、人が多い場所などにいると、汗をかいたり、手が震えてたり、気分が悪くなり、吐いたりすることもありました。中学校のときは野球部だったのですが、次第に部活にも行かなくなり、学校にも行かなくなり、人や人の多い場所を避けるようになっていました。当時、このようなことを誰かに相談したことはありませんでした。

16才から社会に出て仕事をしていましたが、相変わらず人付き合いが苦手で、今まで30~40ぐらい仕事を替わっています。長く続いていると1年くらいでした。職場の人と仲が深まるのですが、自分にとってはそれがつらかったです。

生きるために働かないといけない、でも長く続かない、そして生活のため借金もするようになりました。そのうち借金も返せなくなり、とにかく人と関わりたくない、子どもの頃から仲の良かった友達とも自分から離れるようになり、気持ち的にどんどん悪い方に向かい、誰にも相談できず、自殺して楽になろうと考えるようになりました。

死のうとしていたけれど

ダムに面した、人のほとんどいないキャンプ場で、階段を降りると砂場が広がり、砂場から水があるところへ降りました。足のひざくらいまで入ったところで、一気に柔らかい砂に引き込まれて水に沈みました。急に怖くなり、あわててなんとか水から出て、座り込んでしばらく呆然としていました。結果的にビビッて失敗に終わったのですが、死ななくてよかったと思うのはあとからです。

抱樸館を利用するようになったきっかけは、ダムで失敗したあと、楽に死ねる方法をネットで探していました。一番最初に、自殺防止サイトみたいなところが出てきました。気がつくと自分はそのサイトにつなぎ、相談員の方とチャットでやり取りし、自分の状況を話しました。

今思えば、心のどこかでは本当は死にたくなかったのだと思います。そして、たまたまそのサイトにつながったことが、自分にとって大きな転機となりまし



た。チャットでやり取りしたあと、抱樸館福岡の副館長 青木さんを紹介してもらい、翌日はじめてお会いしました。

抱樸館と出会って

抱樸館に来て生活保護を受け、弁護士の先生を紹介してもらい、借金の整理をしました。将来の自立に向けて資格を取得するため、興味のあったパソコン教室に2週間通わせていただきました。パソコンは触ったこともないし苦手だったのですが、がんばりました。病院にも行かせてもらいました。健康診断にも行ったり、昔から悩んでいた無呼吸症候群の治療にも通っています。すごくためになったことは、精神科クリニックに通ったことです。そこでは発達障害やこころの病気の人が通っているのですが、自分は初めて※社会不安障害ということが分かりました。

今の目標は、とにかく自立に向けてがんばることです。社会不安障害の特性を考えて人の少ない職場を探し、少しでも長く働き続けて、抱樸館から出発して、自立できるようになりたいと思っています。ちょっと今までの自分は自暴自棄になって死のうしたり、マイナスなことばかり考えていましたが、抱樸館に来てからは精神的にも落ち着き、少しづつですが、いろいろなことを解決し、マイナスからプラス方向へと変わってきています。

生きているから言えること

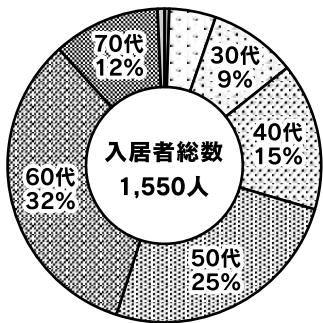
将来、楽しみにしていることがあります。自立して落ち着いたら、九州をバイクでツーリングしたり、キャンプをしたいと思っています。今は死のうと思っていないし、楽しみがあり、あの時自分でいのちを絶たなくてよかったと本当に思います。

自分の場合、ぎりぎりのところで抱樸館につながりました。正直、初対面の人に相談するのは抵抗があったけれど、いちど話してしまえば楽になったのと、ひとりでは解決できないこともあったので、相談してみてよかったです。

※人前で話すなどの状況で、強い不安や恐怖、緊張を感じてしまい、日常生活や社会生活に支障が出る状態

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2024年2月末までの入居者数



	人数	割合
10代	12	0.8%
20代	91	5.9%
30代	133	8.6%
40代	238	15.4%
50代	388	25.0%
60代	494	31.9%
70代	180	11.6%
80代	14	0.9%
計	1,550	100%

2024年2月末現在の入居者

56名(定員81名) 男性53名、女性3名

2024年1~2月の新入居者数・退居者数

新入居者数16名 退居者数17名

(注:2月末までの入居者数1,550名は、2度、3度入居した人も1名と数えています)

抱樸館熊本・抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

抱樸館を支える会の概要

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日 抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員 以下の18団体が正会員です。
グリーンコープの各単協(15生協)
グリーンコープ連合会
NPO法人 抱樸(旧:北九州ホームレス支援機構)
社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員 2024年2月末の賛助会員は、以下の通り
グリーンコープの共同購入組合員 11,137名
グリーンコープの店舗組合員・一般の方 153名
企業賛助会員 99社

その他(抱樸館の所在地)

抱樸館福岡(福岡市東区)	2010年5月開所
抱樸館北九州(北九州市八幡東区)	2013年9月開所
抱樸館下関 : 新たに開設を検討中	
抱樸館熊本(熊本市中央区)	2018年12月開所

抱樸館福岡に 来てみませんか?

●見学を希望される方(一般)は、
次の手順でお申込みください。

①抱樸館福岡にお電話ください。
☎092-624-7771

②申込みフォームに必要事項を記入の上、送信してください。
(申込みフォームは右のQRコードからアクセスしてください)

●グリーンコープ生協の組合員で見学を希望される
方は、所属生協を通じてお申し込みください。

見学申込
フォーム



「地域に開かれた場所として、多くの方に知りたい」と
そんな思いから抱樸館福岡の見学を随時受け付けています。

●見学の申込について

実施日 月～金(祝日を除く)

所要時間 11:30～13:00(相談可)

費用 1000円／1人(昼食費・見学料)

定員 20人／1日

申込み締め切り 希望日の2週間前まで

※日程の変更をお願いする場合があります。

※就学前のお子さまは、昼食を各自でご持参ください。(見学費用はいただきません)。事故等がないよう、同伴の方が注意を払っていただくようお願い申し上げます。



例えばこんな時に

・子ども会や学童保育の集まり ・地域の集まり

・学校の人権学習会などにも伺います

費用:交通費(実費)・謝金(応相談)

まずはお気軽にお問い合わせください



☎092-624-7771(担当青木)

出前講座も受付けています♪

ホームレス問題を身近に感じていただきたいという趣旨で「どのような人がホームレスとなっているのか?」「子どもたちにホームレス問題をどう話していますか?」などのお話をします。

抱樸館を支える会 賛助会員・企業賛助会員 募集中!

◇一般の方、グリーンコープの店舗組合員

1口1,000円の賛助会費を何口でも申込み出来ます。

郵便振替でお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

◇企業賛助会員 募集中です

企業賛助会員は、会費が1口10,000円です。出来れば3口(30,000円)以上でお願いします。申込みは、右記へ。

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

社会福祉法人グリーンコープ内

電話 092-482-1964

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡 (電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772)
〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州 (電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705)
〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館熊本 (電話 096-245-7521 FAX 096-245-7522)
〒860-0811 熊本市中央区本荘